

オーケストラ・アンサンブル金沢 第42回 東京定期公演

# 野村萬斎withOEK

— 能・狂言 × 日本舞踊 × フラメンコ × オーケストラ —

指揮  
松井慶太



©Ayane Shindo

舞踊  
花柳ヅル



舞踊  
工藤明子



ダンス  
秋本悠希



オーケストラ  
アンサンブル金沢  
管弦楽



演出・出演  
野村萬斎

演出

ファーリヤ

恋は魔術師  
El amor brujo

～ファーリヤ生誕150年記念～

2026.3/17 TUE 18:30開演(17:45開場)  
火 サントリーホール

チケット料金[全席指定] S席 7,000円/A席 6,000円/B席 4,000円/C席 3,000円

チケット発売日 11/22(土)10:00～ ※U25当日券50%offあり ※OEK定期会員10%off (S・A席のみ、音楽堂チケットボックスでの取扱い)

※未就学児の入場はご遠慮ください。  
※都合により内容に変更が生じる場合が  
ございます。予めご了承ください。

- チケットセンター TEL0570-55-0017 <https://Suntory.jp/HALL/>
- 石川県立音楽堂チケットボックス TEL076-232-8632 WEBからご予約もできます。 <https://www.oek.jp>  
(窓口9:00-19:00/電話10:00-18:00 休館日11/17、12/15、12/29-1/3、1/19、2/24)
- チケットぴあ (Pコード:312-971) • セブンチケット (セブンコード:113-391) • ローソンチケット (Lコード:36052) • イープラス [eplus.jp](https://eplus.jp)

◎主催:公益財団法人石川県音楽文化振興事業団 ◎後援:レンゴー株式会社 ◎助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) ◎制作協力:株式会社AMATI

12月13日(土)14:00 フェニーチェ堺 / 3月11日(水)19:00 石川県立音楽堂コンサートホール / 3月14日(土)14:00 里ゆーとぴあ 新潟市民芸術文化会館コンサートホール  
2025-2026 スケジュール 3月15日(日)15:00 けんしん郡山文化センター / 3月17日(火)18:30 サントリーホール / 3月24日(火)19:00 愛知県芸術劇場コンサートホール

舞踊  
中村壱太郎

「プログラム」  
徳山美奈子

交響的素描「石川」

「加賀と能登の歌によるより 海の男」



- 蝶々(オーケストラ版・舞:日本舞踊)  
シェーマン  
ファーリヤ  
バレエ音楽「恋は魔術師」

「振付」  
中村壱太郎  
花柳源九郎

若見匠祐助  
藤間 豊彦  
花柳 克昂  
花柳 梨道  
藤間 礼多  
吾妻 春真彌  
吾妻 美保

吾妻 春端  
吾妻 玉輝  
吾妻 春真彌  
吾妻 美保

オーケストラ・アンサンブル金沢 第42回 東京定期公演  
野村萬齋 with オーケストラ・アンサンブル金沢  
フアリヤ 恋は魔術師 ~ファリヤ生誕150年記念~



[ 演出・亡靈 ]  
野村萬齋

Mansai Nomura

祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。東京藝術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。各分野で非凡さを發揮し、狂言の認知度向上に大きく貢献。現代の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり、石川県立音楽堂では、伝統芸能プロ「鉄輪」「船弁慶」「邯鄲」、「真夏の夜の夢」等を演出している。芸術祭新人賞・優秀賞、紀伊国屋演劇賞、読売演劇大賞最優秀作品賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、坪内逍遙大賞など受賞多数。石川県立音楽堂アーティスティック・クリエイティブ・ディレクター、全国公立文化施設協会会長。



[ 振付・舞踊 吾妻徳陽 ]  
中村壱太郎

歌舞伎俳優/  
吾妻流七代目家元・吾妻徳陽  
Kazutaro Nakamura

父は中村壱太郎、祖父は同じく歌舞伎俳優・人間国宝の四世坂田藤十郎。母は日本舞踊吾妻流宗家の吾妻徳穂。95年1月初代中村壱太郎を名のり初舞台。2014年日本舞踊の吾妻流七代目家元吾妻徳陽を襲名。20年新感覺の歌舞伎とアートのコラボからなる配信公演「ART歌舞伎」を上演。海外公演にも精力的に参加している。2025年李相日監督作品「国宝」では吾妻徳陽の名で所作指導を勤める。11月には「ART歌舞伎」初の劇場公演を開催。女方を中心に歌舞伎の舞台に精進しつつラジオやテレビなどにも活動の場を広げている。



[ 指揮 ]  
松井慶太

Keita Matsui

1984年青森県八戸市生まれ。東京音楽大学指揮科卒業。指揮を広上淳一、沙澤安彦の各氏に師事。16歳のときピアニストとしてポーランド国立クラクフ交響楽団と共に、第15回東京国際音楽コンクール(指揮)にて入賞・奨励賞受賞。2023年にオーケストラ・アンサンブル金沢の定期演奏会にデビュー。2024年3月に名古屋フィル定期演奏会に代役指揮者として急遽登壇し、公演を成功に導いた。2011年~2018年東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンス、2025年4月よりオーケストラ・アンサンブル金沢バーマネント・コンダクター、東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)特任教授。



[ 舞踊 ]  
二代目 花柳ツル

Tsuru Hanayagi

1990年11月9日生まれ。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。2歳で初舞台を踏み、歌舞伎座や国立劇場といった大舞台で幼少期より活動し、2007年に三世宗家家元の勤めにより、花柳ツルの名跡を二代目として継ぎ、歌舞伎座で襲名接収。

2010年11月には、花柳ツルの会を主催し、舞踊家として本格的に活動を始め、所作指導なども行っている。現在、五世宗家家元花柳壽輔の後見人を務めている。邦楽洋楽を問わず活動の幅を広げ、伝統芸能の伝承のために尽力している。



[ 舞踊 ]  
工藤朋子

Tomoko Kudo

青森県五所川原市出身。2006年日本フラメンコ協会新人公演奨励賞(ソロ)。2008年現代舞踊協会河上鈴子スペイン舞踊新人賞。2009年日本フラメンコ協会新人公演奨励賞(群舞)を受賞。鍵田真由美・佐藤浩希フラメンコ舞踊団の中心メンバーとして数々の舞台に出演。スペイン公演にも多数出演。2018年文化庁新進芸術家海外研修にて一年間渡西。同年、新国立劇場にて日本フラメンコ界最大のヒット作品『Ay曾根崎心中』の主演を務める。日本にとどまらず海外でもスイスのOrigen Festival Culturalでダンサー・振付家の大石裕香作品「TIME」に出演するなど活動の幅を広げている。



[ メゾ・ソプラノ ]  
秋本悠希

Yuki Akimoto

尾道市生まれ。京都市立音楽高等学校、東京藝術大学声楽科卒。同大学院博士課程修了。英国王立音楽院オペラ科を日本人として初めて卒業。平和堂財団芸術奨励賞、コンセル・マロニエ21声楽部門第1位、リチャード・ルイス・アーヴード第1位、日本音楽コンクール木下賞、英国音楽コンクール2021第1位等多くの受賞歴を持ち、これまでにマレク・ヤノフスキ、ジョナサン・ノット、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢等著名な指揮者・楽壇と共に、2018-2020、ロンドンのセインズペリー劇場、ウイグモア・ホールへ出演して高い評価を得る。



[ 管弦楽 ]  
オーケストラ・アンサンブル金沢

Orchestra  
Ensemble Kanazawa

1988年、世界的指揮者、故 岩城宏之のリーダーシップのもと石川県と金沢市により設立。多くの外国人を含む40名からなる日本初のプロの室内オーケストラ。石川県立音楽堂を本拠地とし、国内外にて年間約100公演を行うほか、座付き作曲家制度、古典芸能とのコラボレーションなど独自の活動でも注目を集める。2022年より指揮者の広上淳一がアーティスティック・リーダーを務める。



[ 振付 ]  
花柳源九郎

日本舞踊家



奈良県生まれ。1990年「操三番叟」にて初舞台。東京藝術大学卒業。2007年「流星」にて文部科学大臣奨励賞受賞。テレビ、メディアや海外の舞踊公演はじめ数々の舞台に出演し、多彩な活躍を続けている。

[ 舞踊 ]



若見匠祐助  
藤間豊彦

花柳克昂  
花柳梨道

藤間礼多  
吾妻君彌

吾妻春瑞  
吾妻玉輝

吾妻春真彌  
吾妻美保

暮らしをつつみ、明日をひらく。  
パッケージのレンゴー



パッケージには、  
使命がある。



動画はこちる

△レンゴー